

説 明 書

1. 業務名

平成 30 年度訪日外国人旅行者周遊促進事業
「山陰における外国人観光客のゲートウェイ及び周遊状況調査」

2. 実施時期

契約締結の日～平成 31 年 3 月 29 日

3. 業務の目的

(一社)山陰インバウンド機構は山陰への訪日外国人誘客に向けゲートウェイ戦略として入国空港別に施策展開を図っているところであり、山陰を訪れている外国人旅行者の入国空港別割合の継続的な把握は不可欠である。

本調査では、山陰を訪れている外国人旅行者の国内移動に関するビッグデータを収集し、国別、季節別、地域別の入出国空港及び周遊状況を把握・分析する。なお、流動人口データの活用は、「公共系（観光施策・防災計画・市町村計画）」、「民間系（商圈分析・出店計画・売上予測）」等に将来的に繋がるものとする。

また、山陰地域内の地域連携 DMO 等とのデータ共有に向け、データは各 DMO の対象エリアを考慮した地域別データとして収集する。

4. 業務の内容

調査内容

■山陰地域を訪れる外国人観光客のゲートウェイ調査

山陰の各地域を訪れている訪日外国人の入出国空港・港湾や前後訪問地等の行動属性について携帯電話ローミング情報等のビッグデータを取得し、国籍別に把握・分析する。

(1) 国籍別分析を行う対象国・地域

米国、欧州（イギリス、フランス、ドイツ、スペイン、イタリア、ロシア）、豪州、中国、韓国、香港、タイ、シンガポール、ベトナム、インドネシア、台湾、マレーシア、フィリピン 以上 18 カ国

(2) 対象エリア

「縁の道～山陰～」エリア（外国人観光客数としてデータ取得が可能な地域設定を行うこと。例えば、鳥取東部、鳥取中部、鳥取西部、出雲地域、石見地域、隠岐地域、萩市の 7 地域。）

(3) データ取得期間

2016～2017 年（2 カ年分）（2018 年のデータについて取得可能な場合は、可能な限り最新のデータについても取得することが望ましい）

■山陰地域を訪れる外国人観光客の交通経路調査

経路検索アプリの利用状況等、GPS 位置情報を基にしたビッグデータを収集し、山陰地域を訪れている外国人観光客の日本国内における移動経路、利用交通手段を把握、分析する。把握・分析を行う対象国・地域、山陰側の対象エリアは、前項のゲートウェイ調査と同一とし、データ取得期間は少なくとも 2017 年の 1 年間のデータとする。（2016 年、2018 年のデータ

についても取得することが望ましい)

■山陰地域を訪れる外国人観光客の周遊動態分析

上記の2種のビッグデータをもとに、山陰を訪れている訪日外国人の行動実態の分析に有用な既存調査結果と合わせ、外国人観光客の周遊動態を分析し、ゲートウェイ毎の誘客戦略構築につなげる。

事業の目標設定、事業の効果・実績の把握、分析等業務

当事業について、下記の項目を含む適切な目標を設定し、事業の効果・実績の把握・分析を行い、後記の事業実施報告書により取りまとめること。また、調査結果報告会で報告する旨、当機構から要請があった場合に報告すること。

- (1)ゲートウェイ調査ビッグデータ収集数
- (2)交通経路調査ビッグデータ収集数

5. 成果物の提出等

(1)成果物

事業実施報告書 (A4 版) 5 部 (紙媒体)

(2)成果物に係るデータ

当該成果物を PDF 化したデータ及び EXCEL データ

(3)提出場所

一般社団法人山陰インバウンド機構

(4)提出期限

平成 31 年 3 月 29 日 (金)

なお、作成にあたっては、以下について留意のこと。

- ①事前に監督職員の承認を受けること。
- ②事業実施状況等をわかり易く編集すること。
- ③事業実施による効果を調査し、取りまとめること。

6. その他

- (1)一般社団法人山陰インバウンド機構と十分協議しながら事業を進めること。
- (2)事業の実施にあたっては、「縁の道～山陰～」のロゴマーク等を使用する等、国及び当機構の進める事業に趣旨に沿って行うよう配慮すること。